

日蓮宗 常栄山 本照寺だより

母 須藤美代子が 霊山浄土へ

行年 90 歳

合掌 須藤美代子 儀

■「過ぐる8月27日夜、90歳を以てその生涯を閉じました。生前、お檀家の方々や関



本堂前御礼の言葉



母・美代子78歳の時

係の方々には大変お世話になり感謝申し上げます。次第です。通夜葬儀は総代世話人の取り計らいにて無事終了いたしました。総じては故人、生前中のご芳情、厚く御礼申し上げます。住職・院首」

(この文章は9月4日から本堂前に。写真①)。

■また9月1日、2日の通夜葬儀は総代世話人がいらつしやる地区、また神奈川新聞計報欄。寺院については厚木愛甲地区12カ寺のみのお知らせといたしました。ご了承くださいますよう、お願いいたします。

第57号
厚木市下古沢133
TEL・046-247-1156
FAX・046-247-1156
振替・0230-7-35749
(加入者名・本照寺)
発行所
本照寺・須藤教裕
携帯090-9151-6438

■須藤美代子・大正13年11月15日、厚木市下古沢本照寺に4人きょうだい、2男2女の4人目、次女として生まれ、厚木高等女学校を卒業。しかし兄2人は戦死、病死となり、美代子が夫、顕本(ぎほん)を山梨県甲府市から迎え本照寺を継ぐ。1男3女に恵まれ、現在、長男・教裕(きょうゆう)が本照寺第40世を継ぐ。

今年のお会式は10月18日(土)です

【法要】午後2時から日蓮大聖人第733遠忌法要を執り行います。法要後は適宜ビデオ放映等。

【お稚児さん】参加は4歳から



朝の詩

「朝の詩」
困るから嘆く
のではなく
嘆くから困る

東京都世田谷区
笹川 勇 46

誕生日

愛媛県大洲市
土居 義彦 68

命

父は68で永眠
僕が35歳のとき
そして歳月は流れ
父とおなじ年にな

大阪市阿倍野区
森川千恵子 68

大丈夫に

兵庫三田市
小林 進子 55

「帰りを待たないでくれ」
大学を卒業してすぐ
遠くへ赴任する朝
靴をはきながら
息子は言った
「大丈夫よ」と私
玄関が閉まってから
私は泣いた
そして必死で
「大丈夫」になろうとしていた
(産経新聞から)

すべてに意味が

◆小鮎小中学校の同級生にE君がいた。彼は生まれながらにして歩くことができない。体育の授業は教室で待っている。しかし音楽など、教室を移る時はクラスの何人かでイスをかかえて彼を運ぶ。
◆このクラスはある意味、「問題」をかかえていた。だが
「彼」によつてある種の
まとまりもあつたように思う。
◆私たちは誰でも、何らかの問題をかかえながら生きている。きつとそれは家庭でのことであつたり、会社やクラスでのこと、また、自身自身のことであつたり。自家撞着……時に悩み苦しみ、痛み悲しむ私たち。しかし、私たちは

誰もが経験しているはずだ。そう、そういった問題を通して初めて気付かされ、そしてそれらの先に見えてくるものがあるということ。
◆結果、それらは人生を豊かなものとするのだが、ともすると私たちは何の問題も無い人生を求め、またそこに幸福を見ようとする。しかし心や身体に問題をかかえながら生きることは決して問題ではない。むしろ問題なのは自己の内なる改めるべき問題に気付こうとしない、といった心ではないか。
◆恥ずかしながら私は高校に入ってから一転、「極度のあがり症」という問題をかかえた。だが自分がそうであつたように、強い目的観、使命感が「問題」を解決するはずだ。
◆そう、起こりうることに必ず意味があり、不必要なものは、何もない。

■法号は精勤院妙念日美大姉。生前のご厚情に、深く感謝、御礼申し上げます。

用意があります。ご希望の方はお問い合わせの上で申し込みください。(4名以上で実施・参加費は千円)。

【万灯奉納・予定】
一、中分・午後7時出発。
7時15分頃到着予定。

第17回「一泊お山しゅぎょう」 今年も卒業生が先生として

■38人の参加者のもと、「一泊お山しゅぎょう」が終了です。毎年、七沢温泉やプールへ行く車が足りず、今年からマイクロスバスをチャーター。とてもリッチ？な移動となりました。次に各班の「先生」を紹介。

■佐久間重美・佐久間トシ子・長澤保彦・須藤貴裕・須藤由子・山根怜士・村井成伍・黒田唯人(敬称略)。以上、先生8人編成にて2日間を有意義に？ 過ごすことができました。先生を始め、参加のみんな、ありがとう！

【※お知らせ・難波健太さんの印鑑出来ています】



お墓づくりの専門家
伏見区八幡のイシックス

「ご埋葬」は
イシックスにお任せ下さい

埋葬料 10,000円(税込)
清掃・拝石・メシ・香炉・土間・金庫等
(別途料金)

☎0120-011140

□平塚店
〒254-0014 平塚市西之宮2-24-01
TEL 0463-92-1114 FAX 0463-94-0222

□小田原店
〒250-0011 小田原市南町2-22-20 水戸ビル1F
TEL 0465-20-1114 FAX 0465-20-1105

「願わくは 花の下にて春死なん その如月の望月のころ」 西行(さいぎょう・僧侶・武士・歌人)
「死ぬならば桜の満開の2月半ば(現在なら3月下旬)、できれば満月(15日?)の下で死にたい」と。そしてその通りに亡くなる(自殺でなく)。

身体障害者に立ちあはだかる「差別」



篠原 徹一 しのはら いてい
昭和19年生まれ。千葉県成田市・曹洞宗・長寿院住職。NPO法人「自殺防止ネットワーク・風」理事長。

篠原住職の寺は「自殺防止の駆け込み寺」と呼ばれ、20年間にわたり24時間、相談の門戸を開いている。
「明日死のうと思えます……」
そんな電話が毎日3〜5件、土日には10件以上もかかってくる。
今回は、『月刊住職』に掲載された篠原鋭一師の一文を、ご紹介したい。

住職 頼みます！

■国選弁護人を引き受けた知人のM弁護士に依頼で、証人として法廷に立つことになった。その理由は……

M氏が弁護するK青年（31歳）は、無銭飲食の常習犯として拘置所へ入出所を繰り返している。

彼と幾度か面会したM弁護士が訴えた。

「本来ならば、彼は無銭飲食をやるような人間ではない。けれどそうしなければ生きていけない事情があるんだ。なんとか無銭飲食を断ち切ってもらいたい。そのためには彼が生きていくことのできる職場や経済的支援が必要なんだ。もし、そういう人がいることを法廷で証明できれば、裁判長も検察官も減刑を考慮してくれると考えたのさ。住職、頼みます！彼の身元引受人になることを法廷で証言してください」

極度の歩行困難

「虫が苦手。特にクモの巣が嫌い」という声を数名の檀家の方からいただいたので、本照寺では屋外のトイレで虫の対策を始めました。夏以降に屋外のトイレを利用された方は香りの変化に気付かれたかもしれません……

●対策の内容

週に1度、虫が苦手な香りの精油を水で薄めて霧吹きで屋外のトイレの床にまいていきます。精油とは植物から抽出した100%天然の成分で、植物ごとに効果や香りが異なります。

●スプレーの作り方

次の材料を霧吹きに入れて混ぜるだけです。水50ミリリットル+

アロマスプレーで虫よけはいかが？

精油（ゼラニウム6滴+シトロネラ6滴+ペパーミント3滴）。ゼラニウムはバラに似た甘い香り、シトロネラは柑橘系の強い香り、ペパーミントは冷涼感のあるススキリとした香りが特徴で、混ぜると爽やかな香りになります。クモはペパーミントに含まれるメントールが嫌いなので、同じ成分を含むハッカなどでも代用可能です。精油は店頭で10ミリあたり千円程度から、インターネット通販では5ミリあたり200円程度から購入できます。



●結果

夏頃、以前は1週間でクモ

見習い僧のコーナー

の巣が2〜3張られていたが、対策後はほぼクモの巣を見かけることがなくなりました。ただ、今まで通りトイレの中に入ってくるダンゴムシやアリにはあまり効果がないようです。

●その他の使い方

肌にスプレーすれば外出時の虫よけとして（敏感肌、妊娠中、授乳中、乳幼児、てんかん、高血圧のいずれかに該当する方は使用をお控えください）、また網戸・カーテンにスプレーすれば部屋の虫よけとしても使えます。

使ったスプレーは腐敗を防ぐため、3日程度で使い切ってくださいね。

怒りが爆発！

■数人だけの淋しい法廷である。M弁護士が私を証人として呼んだ理由を述べると、

「裁判長にお聞きします。この法廷は罪人をつくるために開かれているのですか？」

です。いろいろな仕事をやってなんとか生きてきましたが、ある時、『もう限界だ、どうにでもなれ！』って、ヤケツパチになりました。無銭飲食の始まりです」

M弁護士の訴えが間違っていないと感じた私は、彼に語りかけた。

「刑を終えたら私の寺へいらっしゃい。弁護士のM先生はね、なんとか君の人生を変えたいと一生懸命だ。私も協力するよ」

ゴッポ？ チンバ？

■面会後に、過去の裁判記録を読むことが出来たが、読み進むうちに激しい怒りが沸いてきた。なぜなら、そこには『Kの身体的特徴・ビッコ』、

編集後記

■NHK朝番組にてステーキのおいしい焼き方を教えている番組を見た。そして、「このステーキ肉はこちらで育てられています」となり、その牧場が紹介され牛がアップに。するとキヤインの天野氏が「うまそう！」ときた。以前にも江ノ島水族館で女性の「カニうまそう」を耳にしたが、さすがに「牛」はね。そして最後まで本人と女性アナウンサーのフオロも無かったなあ。もしかして罪悪感で無いの？

■本紙52号で「命の食べ方」と題して一筆啓上しましたが、罪悪感無しで理解不能です。ポールマッカートニーは「とさつ場がガラス張りになれば皆、菜食主義になるだろう」と言いましたが、天野氏にそんな想像力があるはずありませんよね？でも、大食い選手権でステーキやハンバーグが出るんですよ、信じられません。TV局にいると？？になる？ まさか？！ね。

裁判長へ質問

「証人以外の方々も納得されているのですか。本当に犯罪者を受け入れる態勢があるのですか！」

■裁判長のこのひと言で怒りが爆発した。

「裁判長にお聞きします。この法廷は罪人をつくるために開かれているのですか？」

K青年の更生、つまりまだ将来がある若者の、人生のやりなおし、新しいスタートを願って開かれているのですか？どちらですか？彼の犯した罪は社会的ルールによって問われ、償うべきでしょう。しかし、刑期を終えた後に、生きる希望があるかないかは、K青年にとって重大なことです！

す。彼がどれほどの差別を受け、苦悩の人生を送ってきたか……。裁判記録に、皆さんは彼のことをチンバ・ビッコと書いておられる。すでに法廷で差別が始まっています。拘置所からわずかなお金をいただいで出ても、そこは、冷たい差別社会です。差別・無職・無銭飲食・拘置所……。弁護士のM先生は、この循環を断ち切ってあげたいとの激しい思いで私をここへお呼びくださった。私も同感です。この悪循環を断ち切ってくださいませんか？お願いします！

■後日、M弁護士から近く判決が下されるとの連絡があったが、裁判長を怒らせてしまったに違いないと心配していた私を安心させるひと言がM弁護士からあった。

裁判長から「多くの裁判を手がけて参りましたが、『この法廷は罪人をつくるために開かれているのか、更正を願って開かれているのか』との証人の問いかけには、考えさせられました」との便りが届いた、と……

弁護士菩薩さまからの朗報が待ち遠しい。